

東部地区人権教育実践報告会

令和7年7月28日（月）

会場：アスカル幸手・ウェルス幸手

1 全体会の概要

(1) 開会の言葉

(2) 挨拶

埼玉県教育委員会教育長
地区主催者会代表
幸手市長
埼玉県議会文教委員長

(3) 趣旨説明

(4) 人権作文発表

- ・「いいんだよ、かみの毛みじかい女の子」
- ・「ぼくのお兄ちゃん」
- ・「思いやりのお花畑」
- ・「おじいちゃんと笑顔」
- ・「女の子だってできるわ！」
- ・「わたしはわたし」
- ・「認め合うこと」

(5) 県からの情報提供

(6) 閉会の言葉



越谷市立蒲生小学校	第2学年
八潮市立中川小学校	第3学年
幸手市立上高野小学校	第4学年
宮代町立笠原小学校	第6学年
三郷市立瑞木小学校	第6学年
行田市立行田中学校	第1学年
杉戸町立杉戸中学校	第3学年

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
インターネットによる人権侵害	○情報モラルで育む人権感覚
障害のある人の人権	○ともに生き ともに支え合うまちに ～共生社会の実現を目指して～
子供の人権	○「多様な考えを尊重し、他者と関わり合える、心豊かな児童の育成」を目指して
同和問題 (部落差別)	○『幸せを手にするまち 幸手』の人権教育 ～公民館における社会同和教育の取組～
女性の人権	○男女平等の意識、多様性を尊重する意識を育むために
外国人の人権	○国際交流協会から学ぶ、在住外国人との関わり
高齢者の人権	○高齢者体験を通して考える
外国人の人権	○『探究活動を通じた人権教育』

3 参加者の感想・意見

- (1) 子どもたちの作文が素晴らしかった。作文し、発表してくれた子どもたちがそれぞれの夢を実現して、幸せな人生を送ること、そして輝く未来が訪れることを心から祈りたいと思った。指導なさった先生方や保護者の方々にも敬意を表したい。
- (2) 学校、公民館で行われている具体的な取組を知ることができた。学校、公民館の社会的な役割を再確認し、地域と連携して子どもたちを育んでいきたいと思った。
- (3) 実際会場で聞くのが一番よいと思うが、移動時間等を考えるとオンラインで多くの方に参加してもらった方がよりたくさんの人に知ってもらえると思う。